

平成27年(2015年)12月期 決算説明会



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード:3386)

2016.2.16

www.cosmobio.co.jp



目次



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

1. 会社概要と事業の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ p.3
2. 2015年事業環境の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ p.9
3. 2015年12月期決算の概要・・・・・・・・・・・・ p.13
4. 2016年の取り組みおよび業績予想・・・ p.27

1. 会社概要と事業の内容

www.cosmobio.co.jp

会社概要



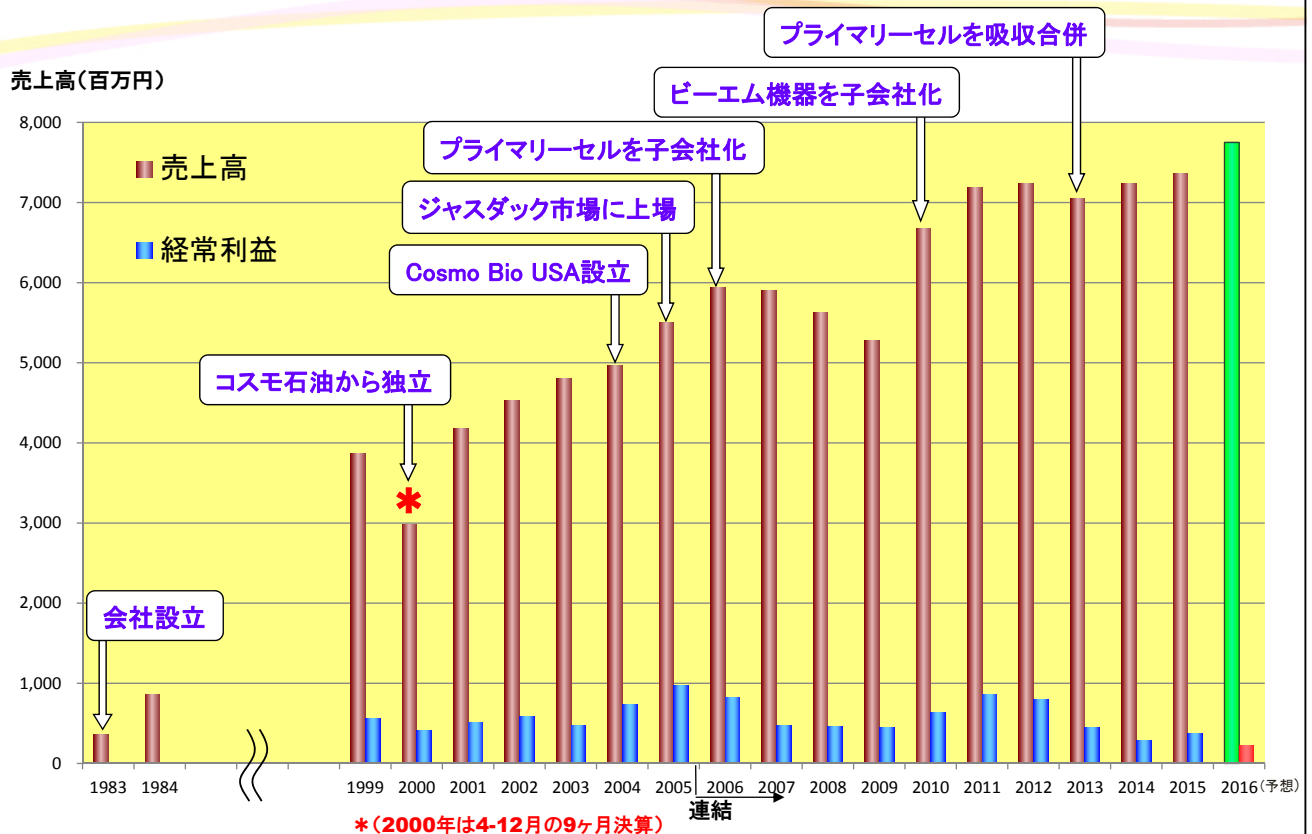
社名:	コスモ・バイオ株式会社
業種:	卸売業
上場市場:	東京証券取引所JASDAQ
コード:	3386
本社所在地:	東京都江東区東陽二丁目2番20号
代表者:	代表取締役社長 笠松 敏明
設立:	1983年8月25日
事業内容:	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の仕入(一部自社製造)及び国内・海外販売
資本金:	918百万円
事業年度:	1月1日から12月31日まで
従業員数:	連結:122名 個別:94名 (2015年12月31日現在)
連結子会社:	ビーエム機器株式会社
非連結子会社:	Cosmo Bio USA, Inc.



ライフサイエンス研究を支援する専門商社

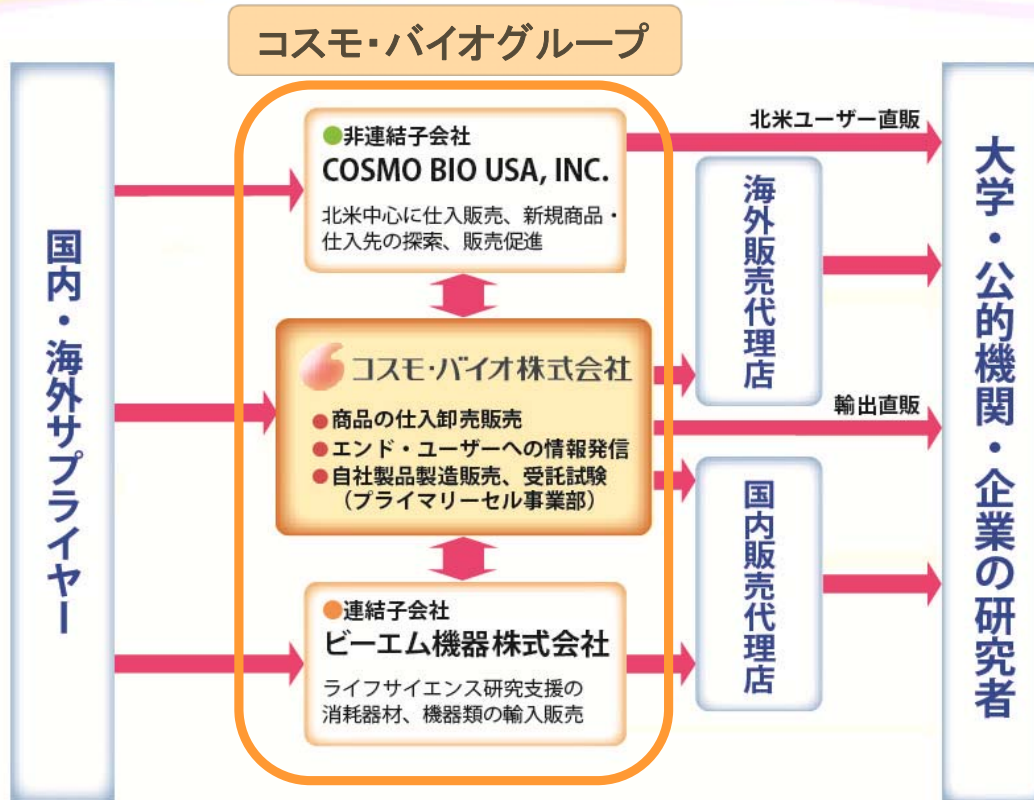


当社の歩み



グループ会社の役割

「世界のライフサイエンス研究を支援する専門商社」



グローバルネットワーク

約630社の仕入網



約30拠点の海外販売網



約200拠点の国内代理店網



コスモ・バイオ株式会社

2. 2015年事業環境の概要

www.cosmobio.co.jp

Copyright© 2016 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

9

2015年事業環境について



大学・公的研究機関

2015年度科研費の助成額は2,318億円であり、前年比13億円の増額。一方、国立大学運営交付金の削減(2015年度は前年度から177億減[-1.6%])は継続しており、特に、当社商品が多く使用される基礎研究分野へ大きく影響。

民間企業

国立大学におけるベンチャーキャピタル設立・出資、景気の上向きによる投資の活性化等、バイオベンチャーを取巻く環境変化や、製薬企業の研究開発費増額はあるものの、基礎研究分野の市場は微増から横ばい傾向が継続。

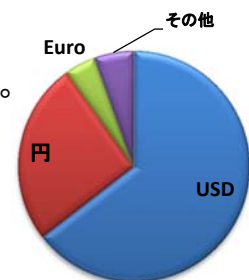
競合他社

市場の伸び悩みに伴い、シェア獲得のための価格競争が慢性化。

為替相場

為替変動により利益に影響
(円安により仕入原価高に)

2015年通期実績	121円/ドル
2015年下期予想	125円/ドル*
2015年上期予想	120円/ドル
2014年通期実績	106円/ドル



【支払通貨】

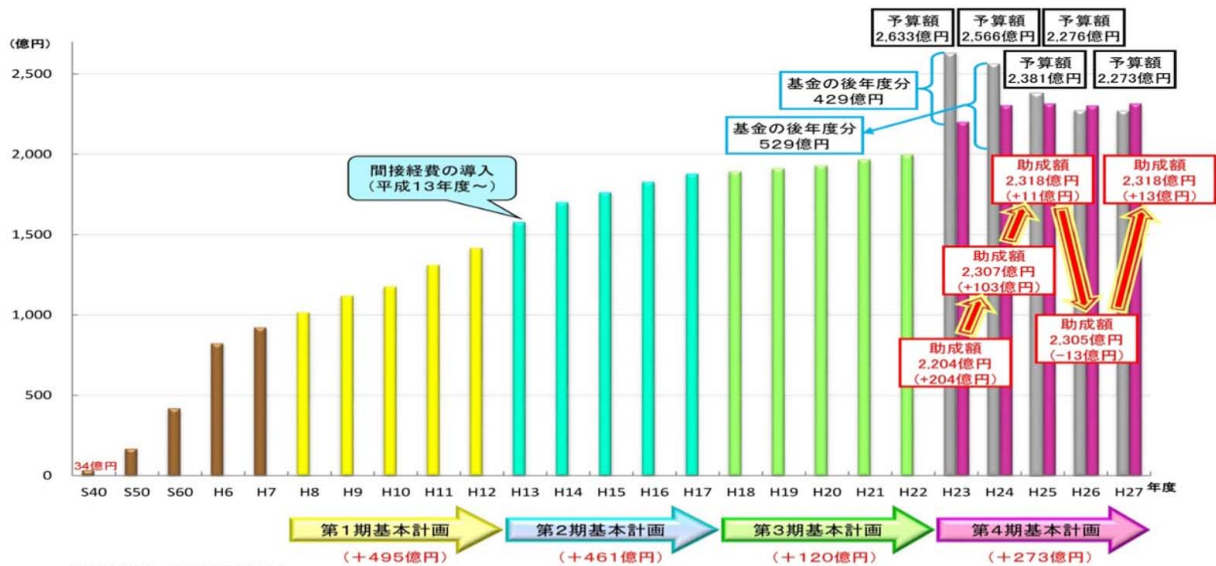
*8/10の業績予想修正に伴い、当初予想120円→125円へ変更

Copyright© 2016 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

10

2015年事業環境について

基礎研究を支える科研費予算(文部科学省)

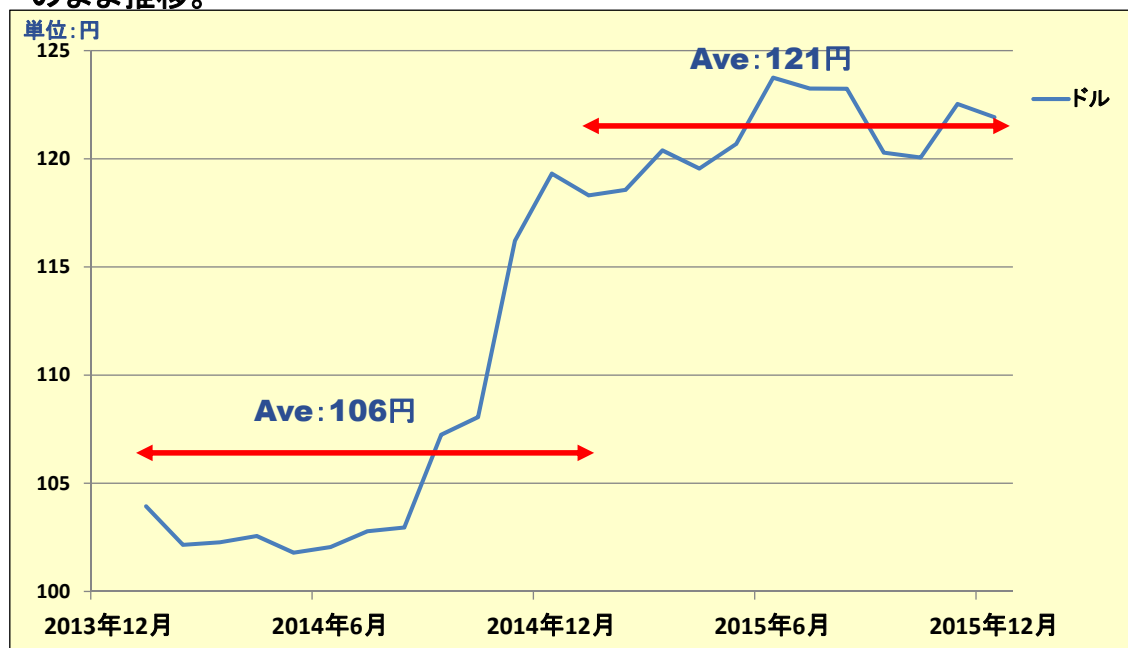


文部科学省HPより

2015年事業環境について

為替相場

- 2015年は、2014年下期からの大幅な円安推移から、120円台を維持した状況のまま推移。



3. 2015年12月期決算の概要

www.cosmobio.co.jp

2014年からの取り組み(3ヶ年計画)

「成長と信頼の研究支援会社の実現」

顧客満足度の追求

研究動向にあった商品・サービスの導入、製品開発の強化、顧客の求める情報提供の充実

業容の拡大

販売、商品開発、業務効率化・強化のための投資
仕入先との関係強化・提携等の推進

経営基盤の安定化

株主資本、経営資本の安定、事業リスクの低減化(仕入先M&A、為替、法規制等のリスク)

課題1

・市場低迷・円安環境に打ち勝つ！

通期の活動状況

◎適正な商品価格への是正

- ・取扱い商品の価格是正を段階的に実施し、市場への浸透に注力。

◎顧客満足度の追求

- ・取扱い商品数が1,200万品目を突破。「抗体百科」カタログをWEB版で復活。
- ・動画プロモーションツールを導入し、代理店向け専用Webサイト上で商品紹介の配信を開始。
- ・営業強化の一環として顧客訪問数を大幅UP、対前年30%UPを達成。
- ・商品在庫施策による納期短縮。海外仕入先と提携し、国内在庫を運用。

・市場低迷・円安環境に打ち勝つ！

通期の活動状況

◎自社製品・サービス等高付加価値商品の強化

- ・新規導入仕入先、自社製品・サービス等高付加価値商品の売上進捗が順調に推移。
 - ◎自社製品の販売額に関しては、前年を超える実績に。
 - ◎受託系サービスの販売額に関しては、売上目標金額を達成。
 - ◎新規導入仕入先の販売額に関しては、売上目標金額を達成。

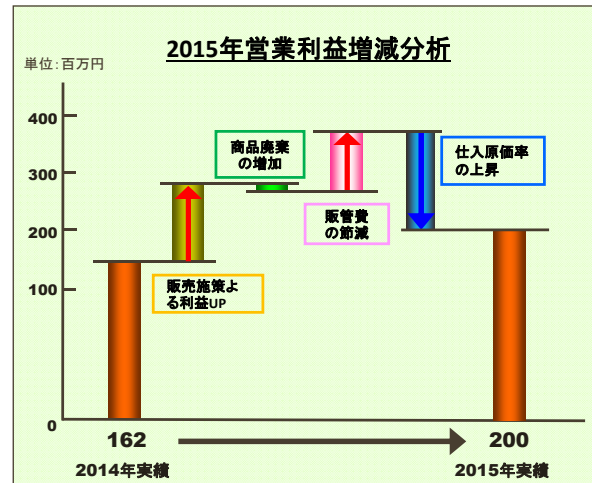
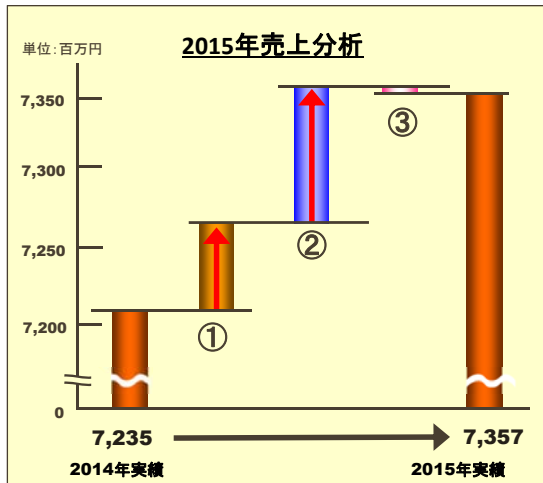
◎輸出の拡大

- ・代理店と共同で海外展示会へ出展。
- ・中国国内で代理店を増加。
- ・重点販売商品売上が前年を超える実績に。
- ・販売ツールの充実と知名度の向上を目的とした、輸出向けWebサイトのリニューアルが完了。

・市場低迷・円安環境に打ち勝つ！

◎ 市場低迷・円安環境への対策

- ① 適切な商品価格への是正、顧客満足度の向上
- ② 自社製品・サービス等高付加価値商品の強化
- ③ 輸出の拡大



課題2

・効率化、合理的な仕事への転換

通期の活動状況

- ・新基幹システム(SAP)導入は当初2016年1月予定だったが、今年春の稼働予定に。
- ・販管費の効率的な使用・節減を実施(営業経費・物流経費・一般管理費の節減)。
- ・社員の意識変化への取り組み → 効率を意識した仕事浸透。

課題3

・経営基盤の安定化

・子会社関連

子会社ビーエム機器において、個人保有の株式をビーエム機器の自己株式として集約

連結業績ハイライト

売上高

【予算比】	(+) 価格是正 (+) 高付加価値商品の販売増 (-) 市場低迷
↓ -5.2%	
【前年比】	
↑ 1.7%	

純利益

【予算比】	(+) 価格是正 (+) 高付加価値商品の販売増 (+) 販管費の節減 (-) 原価の上昇
↑ 43.7%*	
【前年比】	
↑ 14.3%	

* 予算比は2015/8/10発表の業績予想修正数値より算定しております。

連結損益計算書

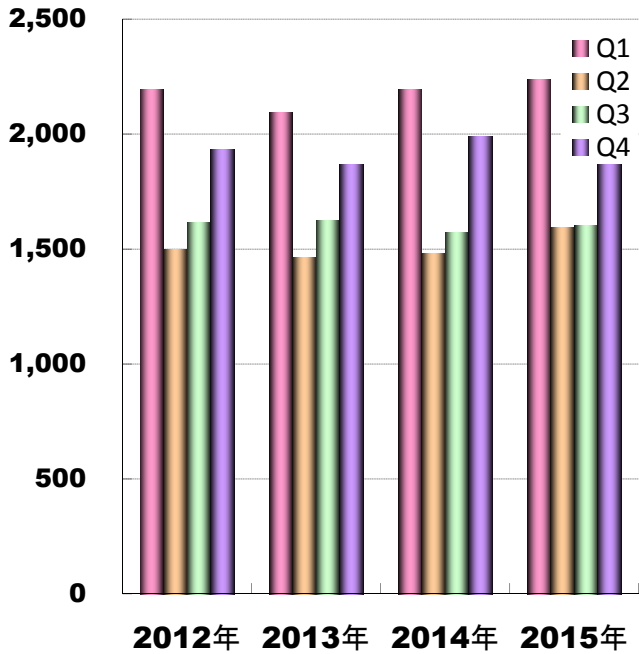
(単位:百万円)

	2014年	2015年	増減額	増減率
	実績	実績		
売上高	7,235	7,357	122	1.7%
売上総利益	2,424	2,380	△43	△1.8%
営業利益	162	200	38	23.7%
経常利益	285	373	88	30.9%
純利益	201	230	28	14.3%

四半期別動向(売上高、経常利益)

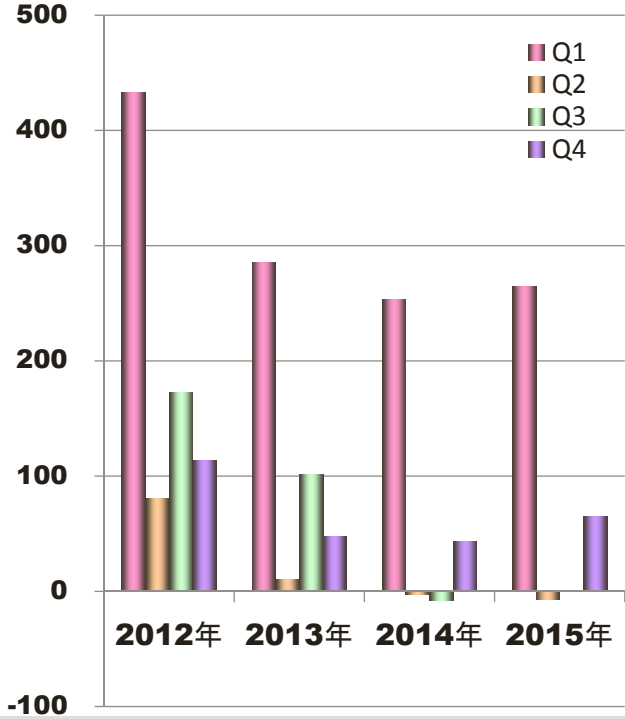
(百万円)

売上高



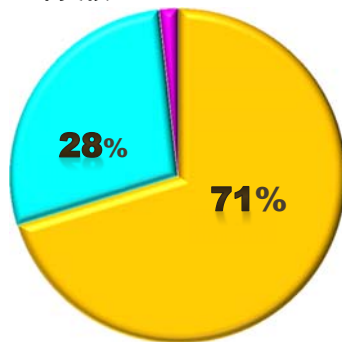
(百万円)

経常利益

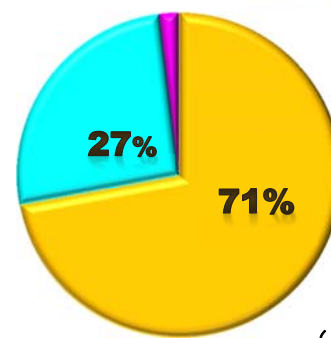


商品分類別連結売上高

2014年実績



2015年実績



(単位:百万円)

連結	2014年実績		2015年実績		増減額	増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比		
研究用試薬	5,100	70.5%	5,217	70.9%	116	2.3%
機器	2,001	27.7%	2,002	27.2%	0	0%
臨床検査薬	132	1.8%	137	1.8%	5	4.0%
合計	7,235	100.0%	7,357	100.0%	122	1.7%

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2014年12月末	2015年12月末	増減額
総資産	8,161	7,790	△371
流動資産	5,234	5,266	32
固定資産	2,927	2,523	△403 注1
負債合計	1,628	1,412	△216 注2
純資産合計	6,532	6,378	△154
株主資本	5,469	5,623	153
自己資本比率	74.1%	76.4%	

注1 投資有価証券の減少 △520

注2 買掛債務 △105 繰延税金負債 △131

連結キャッシュ・フロー計算書

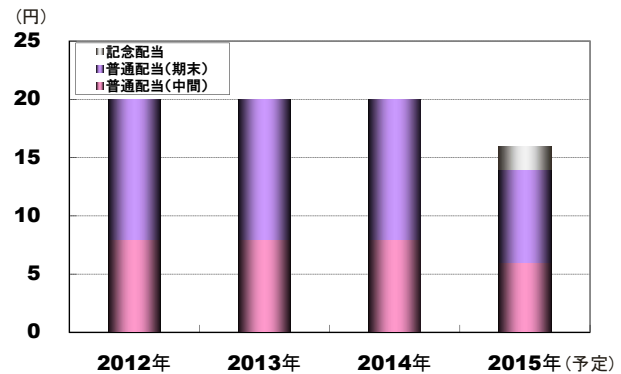
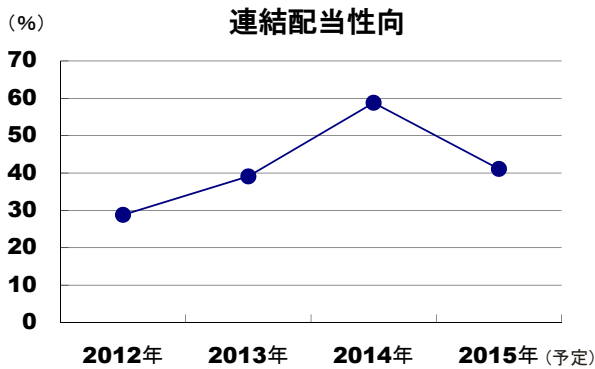
(単位:百万円)

	2014年 実績	2015年 実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	297	129	△167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227	△263	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122	△151	△29
現金及び現金同等物の増加額	△52	△285	△232
現金及び現金同等物期末残高	1,383	1,098	△285

配当について

	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2015年 12月期	6円	10円(予定) * 記念配当2円含む	16円(予定)
2014年 12月期	8円	12円	20円
2013年 12月期	8円	12円	20円
2012年 12月期	8円	12円	20円

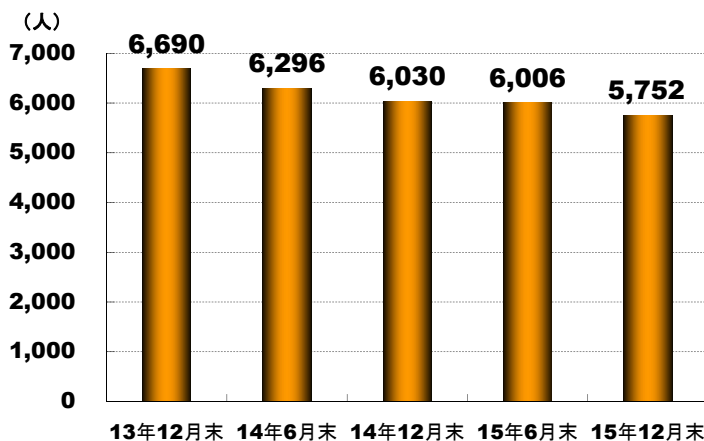
* 2013年1月に、1株につき100株の株式分割を行っています。
1株あたり配当額は、この株式分割を2012年12月期の期首に行つたと仮定して算定しています。



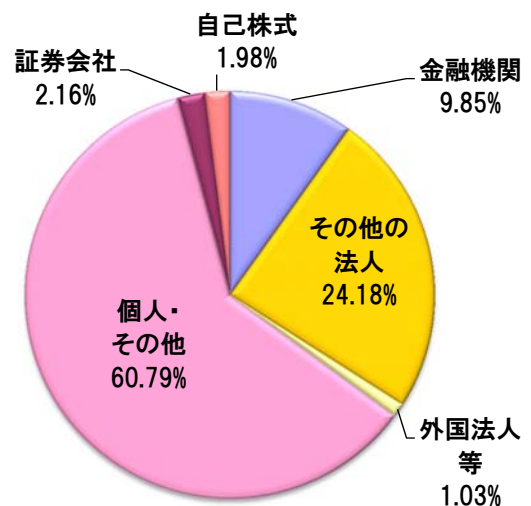
株式の状況(2015年12月末現在)

株主数の推移

発行可能株式総数	18,361,600株
発行済株式の総数	6,048,000株
自己株式数	120,000株



所有者別株式分布状況



4. 2016年の取り組みおよび業績予想

www.cosmobio.co.jp

2014年からの取り組み(3ヶ年計画)

「成長と信頼の研究支援会社の実現」

顧客満足度の追求

研究動向にあった商品・サービスの導入、製品開発の強化、顧客の求める情報提供の充実

業容の拡大

販売、商品開発、業務効率化・強化のための投資
仕入先との関係強化・提携等の推進

経営基盤の安定化

株主資本、経営資本の安定、事業リスクの低減化(仕入先M&A、為替、法規制等のリスク)

2016年への課題

- ・市場環境は2015年と同様厳しい事業環境が続くと思われるが、着実に売上を伸ばし、利益を確保する収益構造を確立する。
- ・中期経営計画最終年度であり、ビジョンである「成長と信頼の研究支援会社の実現」のために、中期経営計画の基本施策を継続実行し、以下の重点目標に取り組む。

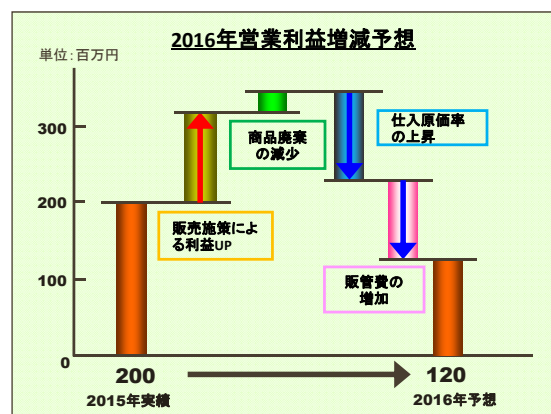
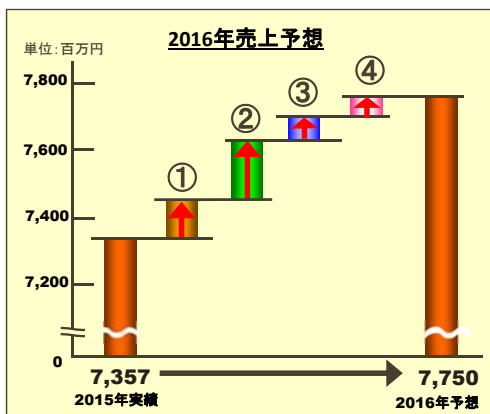


- 重点目標**
- ▶ 市場低迷・円安環境での収益伸長
 - ▶ グループ間での連携強化
 - ▶ 新たなビジネスモデルへの投資

2014年からの取り組み 「成長と信頼の研究支援会社の実現」

市場低迷・円安環境での収益伸長

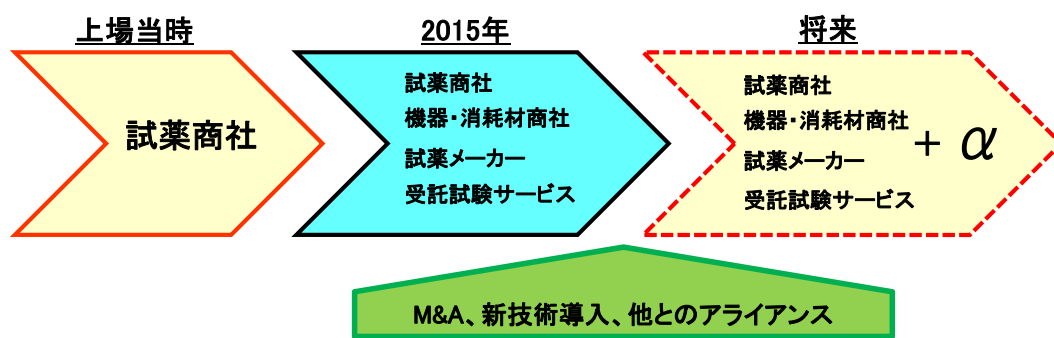
- ① 営業活動の強化
- ② 市場シェアの拡大
- ③ 利益性を考慮した仕入および販売
- ④ 輸出売上のアップ



グループ間での連携強化

- ①取扱い商品の整理 ⇒ 機器関係の仕入先を当社からビーエム機器へ移管
- ②物流センターの相互利用
- ③管理系業務の見直し ⇒ 業務の一部を当社が受託
- ④情報の共有および内部統制の一体化

新たなビジネスモデルへの投資



2016年12月期の連結業績見通し

(単位:百万円)

	15/12月期 実績	16/12月期 予想	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	7,357	7,750	392	5.3%
営業利益	200	120	△80	△40.2%
経常利益	373	220	△153	△41.1%
純利益	230	120	△110	△48.0%
売上高経常利益率	5.1%	2.8%	—	—
平均為替レート	15/12月期 実績	16/12月期 予想		
円/USドル	121円	125円		
	15/12月期 予定	16/12月期 中間(予定)	16/12月期 期末(予定)	
配当額	合計 16円	6円	8円	

ご注意

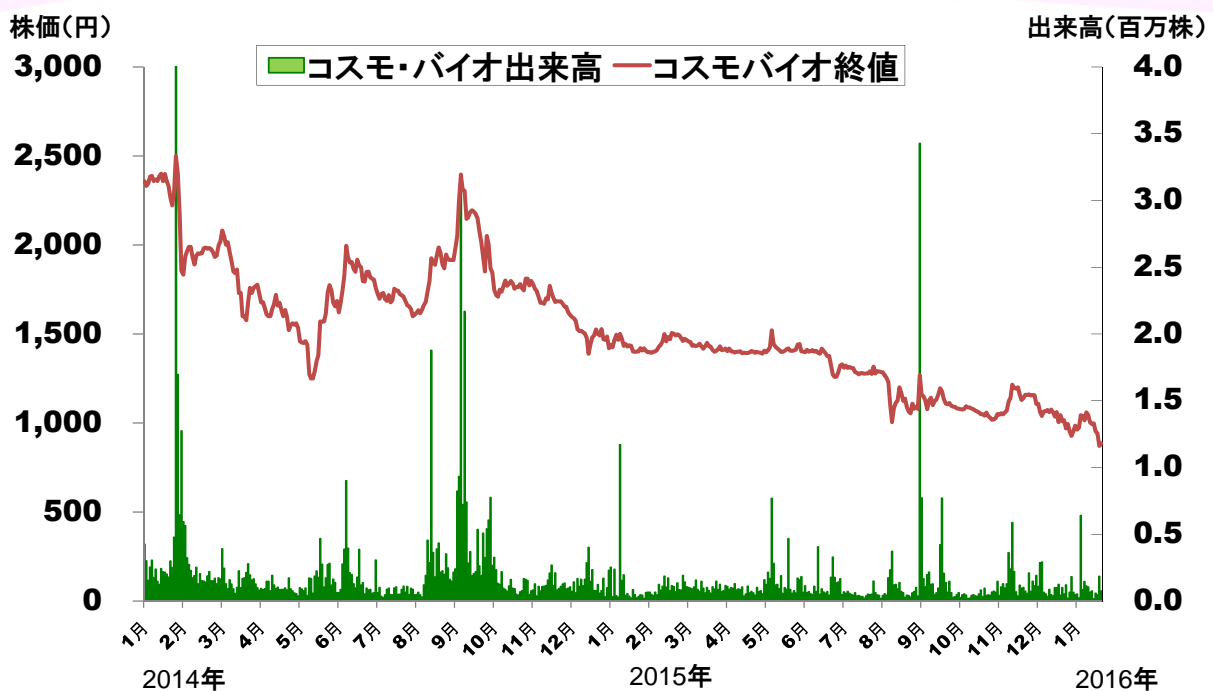
- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 経営企画室
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>

ご参考:

株価推移(2014/1/6~2016/2/15)



昨日(2月15日)の終値:885円